

平成 16 年度 稲城市教員夏季研修会資料

パソコンを使った授業を作ろう

実施日 8月23日(月)・24日(火)

富士通株式会社

NPO 法人 アクティブSITA

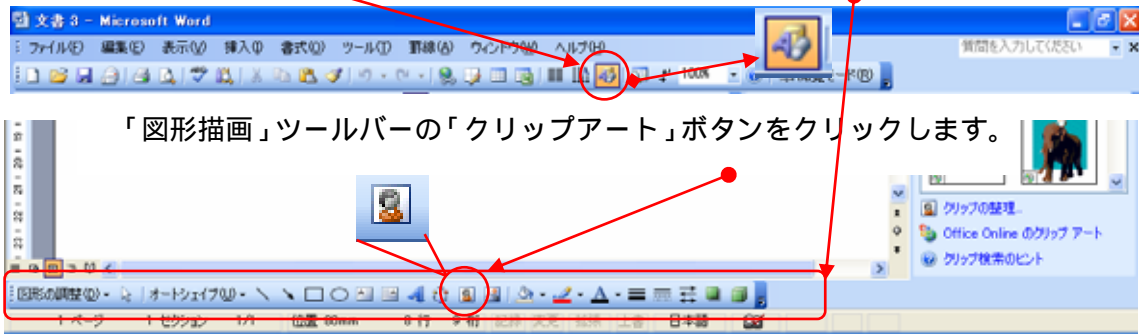
1. 「クリップアート」やイラスト・画像で表現力をアップ!

1. 「クリップアート」やイラスト・画像を挿入することによって表現力豊かな文書を作成することができます。;

* 「クリップアート」とは、あらかじめ用意されている図(人物・動物・建物など)のことです。

2. 「クリップアート」は「図形描画」ツールバーを表示して実行します。

ツールバー「図形描画」をクリックします。画面下部にツールバーが表示されます。



「挿入」メニュー「図」「クリップアート」からも挿入できます。

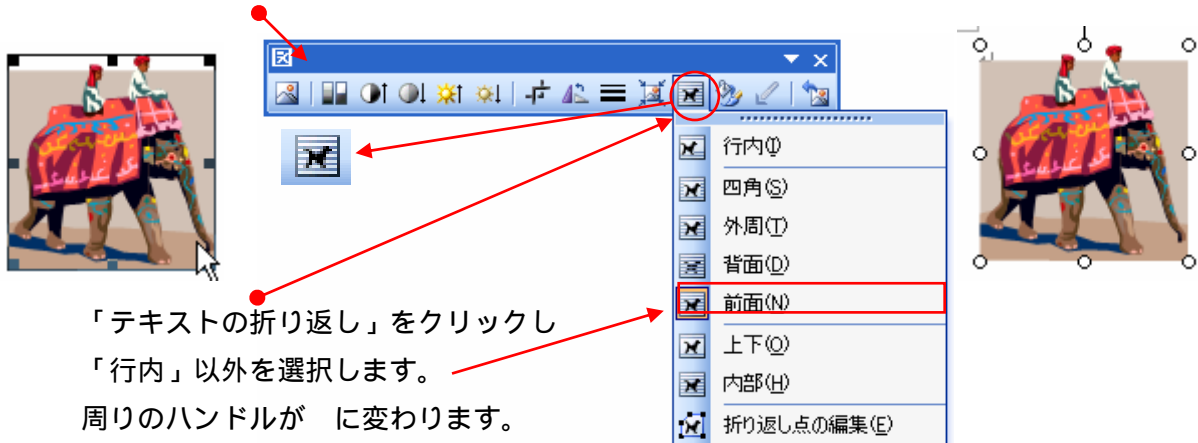
「ファイルから」で保存済みの画像やイラストを挿入できます。

3. 「クリップアート」作業ウィンドウが表示されます。「検索」「検索画像の名前を入力」
探す場所「すべてのコレクション」種類「検索」ボタンをクリック 下のボックスにクリップアートが表示されます ポイント をクリック 「挿入」(ドラッグ&ドロップでもよい)

4. クリップアートの書式設定

クリップアートをクリック(選択)します。クリップアートの周囲に (ハンドル)が表示されます。この時点では、「文字の折り返し」が行内(移動不可)となっています。

同時に「図」ツールバーが表示されます。



「テキストの折り返し」をクリックし

「行内」以外を選択します。

周りのハンドルが に変わります。

サイズ変更 クリップアートが選択されていることを確認し、右下のハンドルをポイントします。マウスポイント 双方向の矢印になっていることを確認し対角線上をドッキングします。移動 クリップアートをポイントします。


マウスポインタの形が変わります。

図を移動したい場所へドラッグ&ドロップします。




【ご参考】

「テキストの折り返し」とは・・・？画像に対する文字の配置（回り込み）状況のことです。




具体的には、個人毎にパソコンを活用した授業コンテンツ(15分間授業)を作成する実習型の講座です。つまり、皆さんにコンテンツの内容を企画して頂き、講師・アシスタントの支援を受けながら、実際の授業で使えるコンテンツ(PowerPoint、Excel、など)の



具体的には、個人毎にパソコンを活用した授業コンテンツ(15分間授業)を作成する。実習型の講座です。つまり、皆さんにコンテンツの内容を企画して頂き、講師・アシスタントの支援を受けながら、実際の授業で使えるコンテンツの作成を目指します。

四角 = 画像の周りが四角になる。



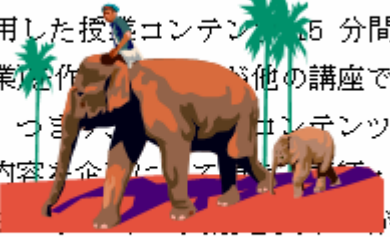
具体的には、個人毎にパソコンを活用した授業コンテンツ(15分間授業)を作成する実習型の講座です。つまり、皆さんにコンテンツの内容を企画して頂き、講師・アシスタントの支援を受けながら、実際の授業で使えるコンテンツの作成を目指します。

外周 = 図形の形に添って文字が折り返される。



具体的には、個人毎にパソコンを活用した授業コンテンツ(15分間授業)を作成する実習が他の講座です。つまり、皆さんにコンテンツの内容を企画して頂き、講師・アシスタントの支援を受けながら、実際の授業で使えるコンテンツの作成を目指します。


上下 = 文字の配置が上下になる。



具体的には、個人毎にパソコンを活用した授業コンテンツ(15分間授業)を作成する実習が他の講座です。つまり、皆さんにコンテンツの内容を企画して頂き、講師・アシスタントの支援を受けながら、実際の授業で使えるコンテンツの作成を目指します。

前面
画像が文字の前面配置。

背面
画像が文字の背面配置。



具体的には、個人毎にパソコンを活用した授業コンテンツ(15分間授業)を作成する実習が他の講座です。つまり、皆さんにコンテンツの内容を企画して頂き、講師・アシスタントの支援を受けながら、実際の授業で使えるコンテンツの作成を目指します。

2. ワードアートはエキサイティング！

1. 「ワードアート」を使うと、あらかじめ用意されている「ワードアートスタイル」を選択するだけで、特殊な効果文字を簡単に作ることができます。文字の形や文字方向、色や立体などの効果をまとめたものです。
2. 挿入したい場所をクリックしてカーソルを移動します。
3. 「図形描画」ツールバーの中の「ワードアートの挿入」ツールボタンをクリックします。



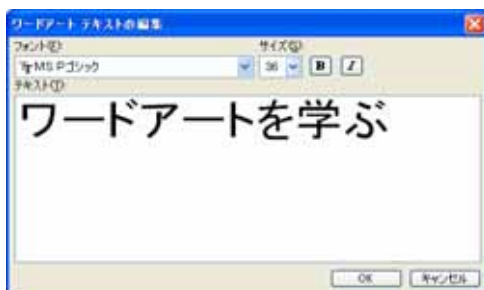
4. 「ワードアートギャラリー」ダイアログボックスが表示されます。



5. 「ワードアートスタイル選択」の一覧から任意のスタイルを選択し「OK」をクリックします。
6. 「ワードアートテキストの編集」のダイアログボックスが表示されます。
7. 「テキスト」に「ワードアートを学ぶ」と入力し「OK」をクリックします。

ワードアートを学ぶ

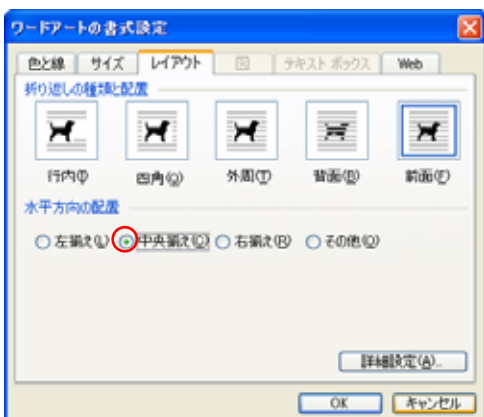
8. ワードアートの書式設定



レイアウト

ワードアートは、「行内」に貼り付けられます。
のハンドルが付きます。

- a. 「ワードアートの書式設定」 「レイアウト」 「行内」以外（場合によって前面・四角など）を選びます。ここに無い場合は「詳細設定」をクリックします。
- b. 「水平方向の配置」 中央揃え等を選択します。サイズ変更・移動などは、クリップアートと同じです。



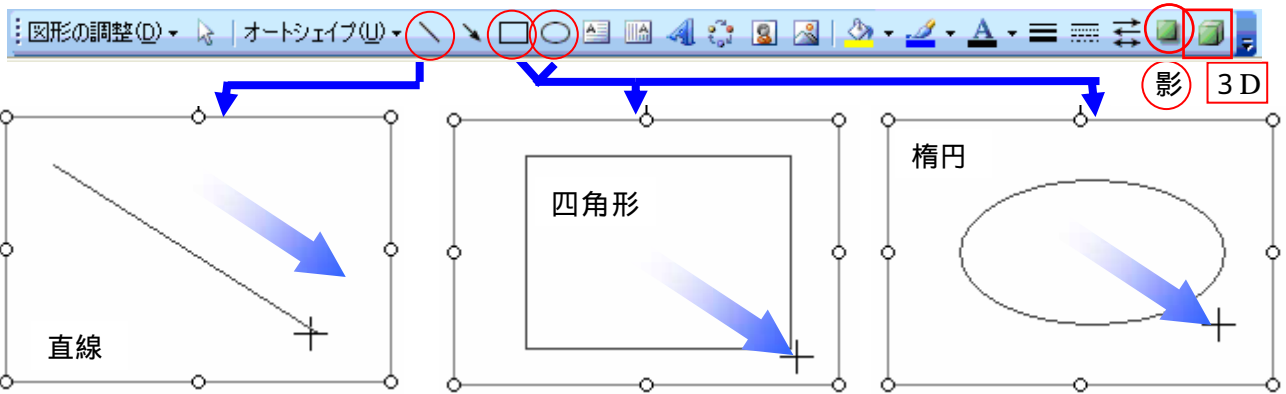
9. ワードアートの編集

フォント・文字サイズ・太字・斜体
形状の変更

ワードアートを学ぶ

3. 図形描画機能(オートシェイプ)を使う

1. 「オートシェイプ」を使うといろいろな図形を簡単に作成することができます。図形は、「線」「コネクタ」「基本図形」「ブロック矢印」「フローチャート」「星とリボン」「吹き出し」など 100 種類以上の図形が用意されています。
2. 図形を作成するには「図形描画」ツールバーを使います。



3. 図形の作成(描画キャンパスの削除)



* 描画キャンバスは Office2002 より採用されました。

画像が一つの場合は、描画キャンバスは使用しないほうが画像を扱いやすくなります。

例えば、楕円をクリックします。マウスポインタの形が+になります。**Delete** を押します。描画キャンバスは削除されます。

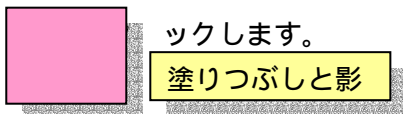
4. 「塗りつぶし」と「グラデーション」と「影」をつける。

塗りつぶし 図形を選択します。

ツールボタン「塗りつぶしの色」

から色を選びクリックします。

影 「影付きスタイル」ボタンをクリ



ックします。

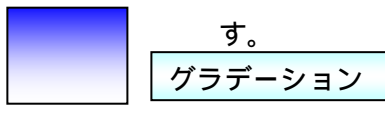
塗りつぶしと影

グラデーション 図形をダブルクリックします。

「色と線」タブをクリックします。 「塗りつぶし効果」

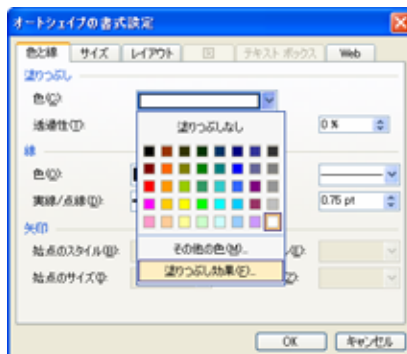
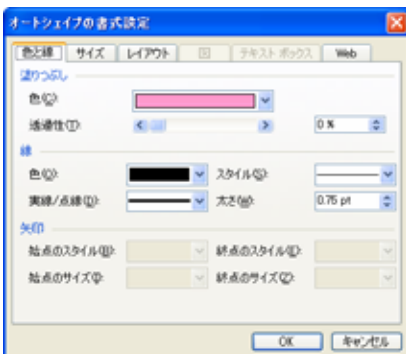
「2色」 任意の色を「色1」「色2」

に指定し 「グラデーションの種類」を指定しま



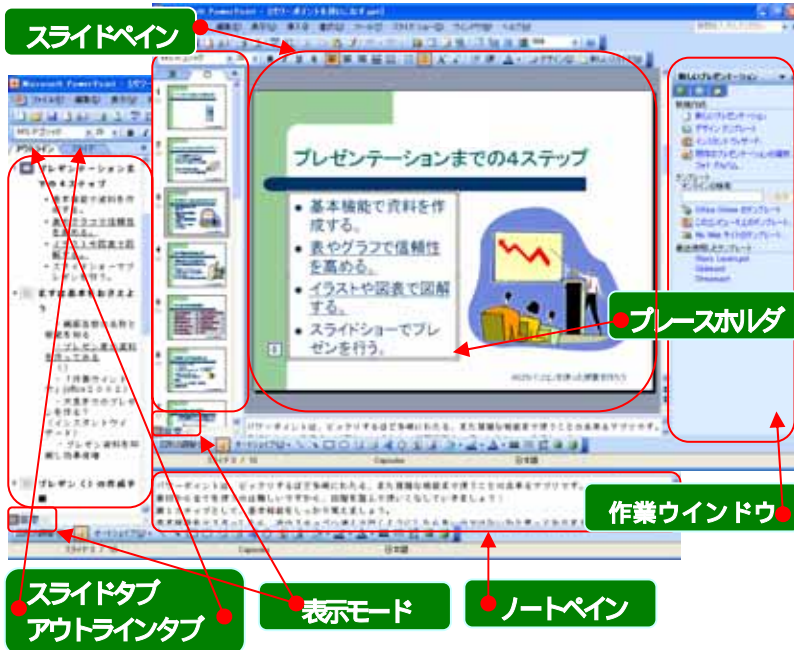
す。

グラデーション



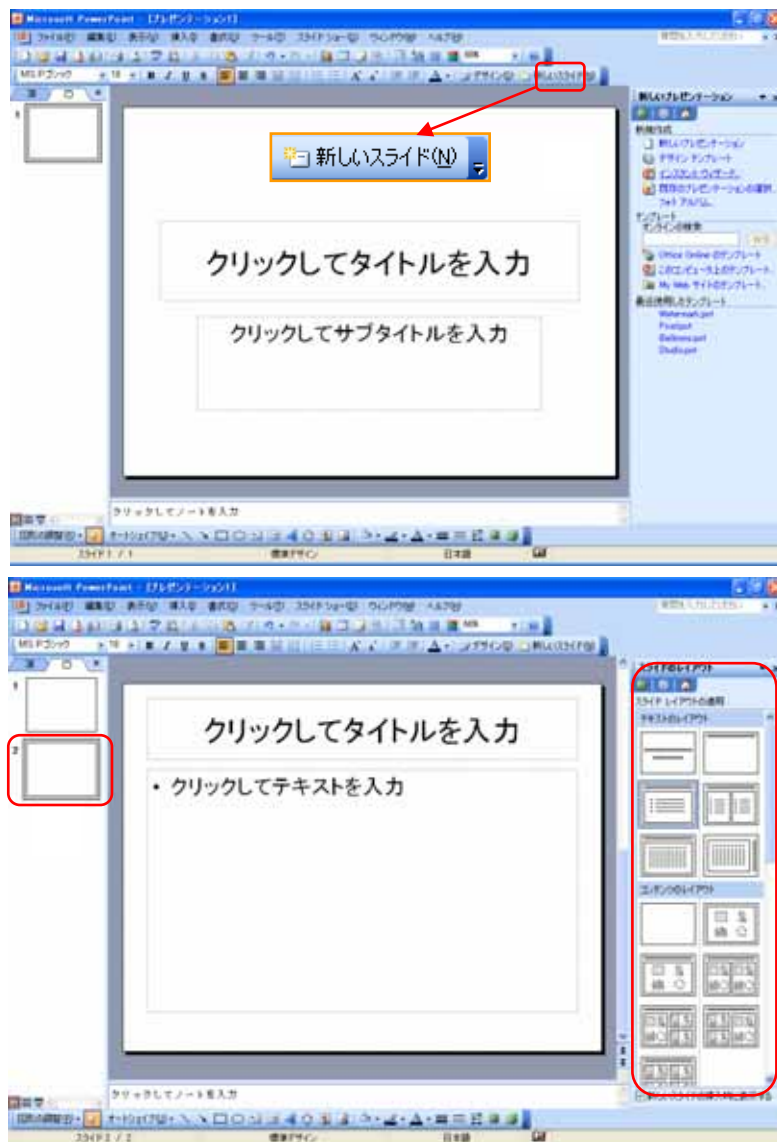
5. ツールバー「図形の調整」で「順序」(前面・背面など)「回転」「グループ化」などを設定できます。

4. パワーポイントで授業を作ろう！



1. パワーポイント画面各部の名称と機能

パワーポイントでは、「スライド」と呼ばれる画面ごとに、文字や画像を配置していきます。まずこの画面構成と機能を覚えることが大切です。また、Office の機能である「ワードアート」や「クリップアート」「オートシェイプ」機能も使うことができます。



2. パワーポイントの起動と新規作成

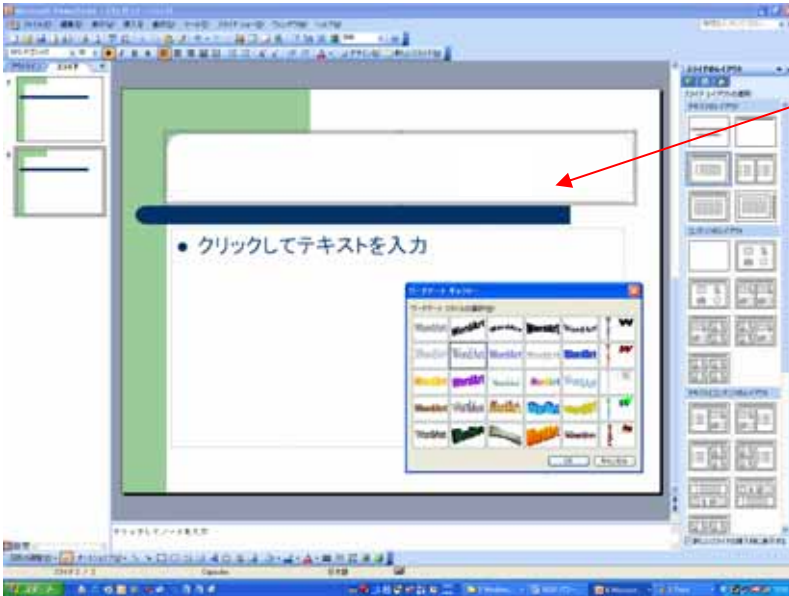
パワーポイントを起動すると左側の画面が現れます。画面右上にある「新しいスライド」ボタンをクリックします。

「スライド」タブに新しいスライドの挿入と同時に「スライドレイアウト」作業ウインドウが表示されます。

* 「作業ウインドウ」を使うことによって効率的に作業を進めることができます。

「デザインテンプレート」の適用
パワーポイントの起動後のスライドは、背景が真っ白です。作業ウインドウ「スライドのデザイン」「デザインテンプレート」から任意のデザインを選択適用ができます。

* またデザインはそのまま、「配色」を変える事ができます。



3. 文字や「ワードアート」の挿入

「プレースホルダ」の内側をクリックすると文字を入力出来るようになります。

「ワードアート」を使うと、通常のフォントではできない立体文字などを表現できます。

*ヘッダーとフッターの挿入

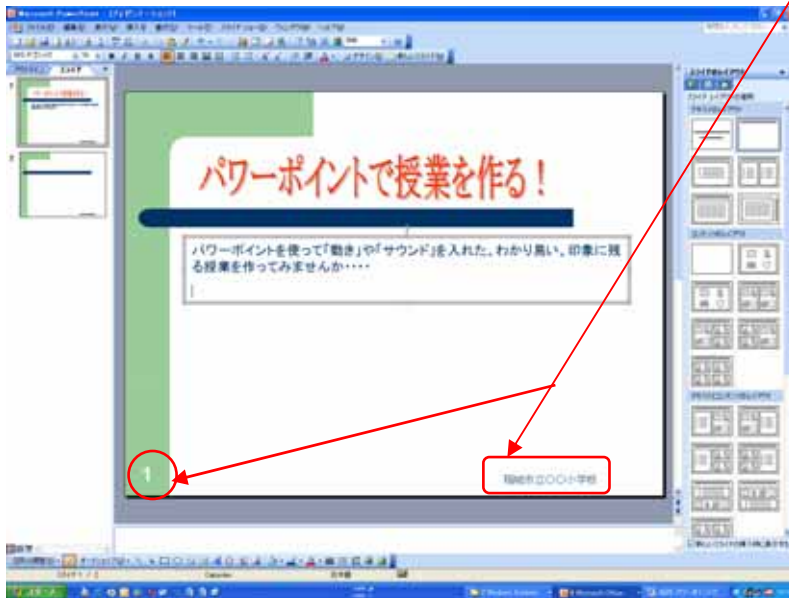
「表示」メニューの「ヘッダーとフッター」から挿入できます。

「日付」「学校名」「ページ番号」等を全てのページに挿入できます。

プレースホルダの調整と移動

a. サイズ変更したいプレースホルダをクリックします。枠線の四隅にあるハンドルにマウスを重ねると、双方向の矢印になるので、ドラッグします。サ

●「パワーポイント」は「プレゼンテーション」に使う資料を作るためのソフトです。



b. プレースホルダを移動するには、枠線上にマウスを重ねると + の矢印に変わるのでドラッ

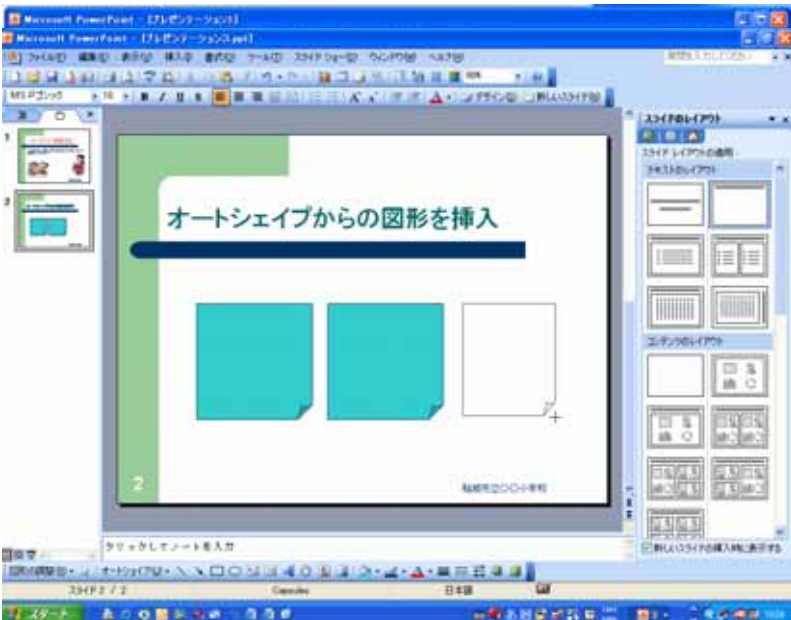
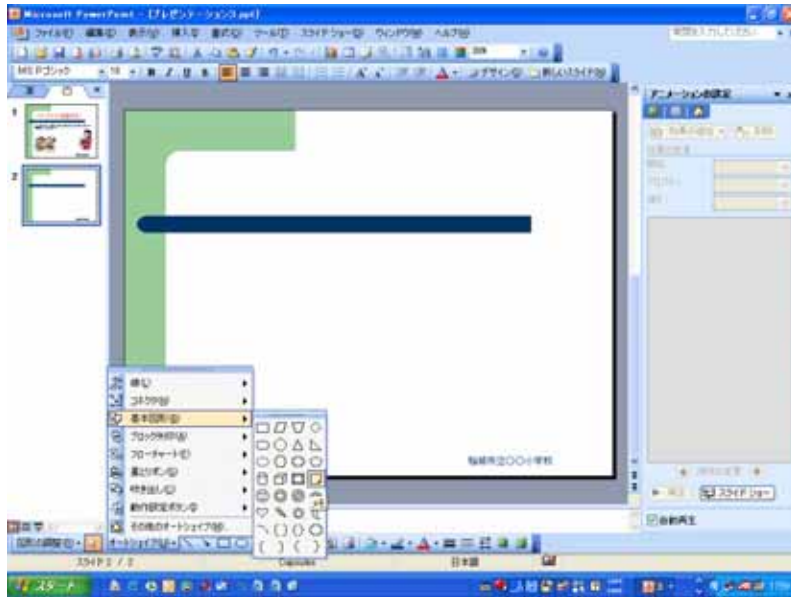
●「パワーポイント」は「プレゼンテーション」に使う資料を作るためのソフトです。



4. 画像の挿入

プレゼンテーションにはイラストや写真などを挿入すると効果的です。

「挿入」メニューから「図」「ファイルから」を選択します。「マイピクチャ」ホルダから目的の画像を選択し「挿入」で画像がスライドに挿入されます。



5. 図形の挿入とアニメーションの設定

画面へ図形などを挿入すると効果的なツールを作ることができます。

「図形描画」ツールバーより「オートシェイプ」「基本図形」「メモ」を選択します。

マウスポインタが+になることを確認し描きたい場所をドラッグします。

グラデーションと図形の変更

a. グラデーション (P4) の通り、図形を選択して「塗りつぶしの色ボタン」から「塗りつぶし効果」で設定します。

b. 図形の変更をするには、図形を選択し、「図形の調整」ボタン「図形の変更」 目的の図形を選択します。

テキストの挿入

図形の中に文字を挿入します。図形を右クリックし「テキストの追加」を選択し文字を入力します。

図形のグループ化

左端の図形を選択し、Shift キーを押しながら残り二つの図形を選択します。

次に、「図形描画」ツールバーの「図形の調整」ボタン「オートシェイプの変更」 目的の図形を選択します。

一つの図形にグループ化されます。

6 . 図形にアニメーションを設定する

図形を選択し、「作業ウインドウ」

「アニメーションの設定」「効果の追加」「開始」「その他効果」

「ライトスピード」(参考例) 速さ

「普通」サウンド「ウインド」を

設定します。



5. スライドショーを上手に作る
 パワーポイントの利点の一つに、アニメーション、動画、サウンドの挿入設定があります。

画面切り替え効果の挿入

a. 画面切り替えの設定

「スライドショー」メニューから「画面切り替え」を選択します。ここでは「ブラインド(縦)」を選択します。

「再生」をクリックすると効果のプレビューが始まります。スライドタブの「スライドアイコン」に「」が表示されます。

b. 切り替え時のサウンドの挿入

画面切り替え効果を設定すると、切り替えのタイミングに合わせて、効果音を鳴らすことが出来ます。

c. 「自動切り替え」「全てのスライド」に設定

それぞれのボタンをクリックして設定します。

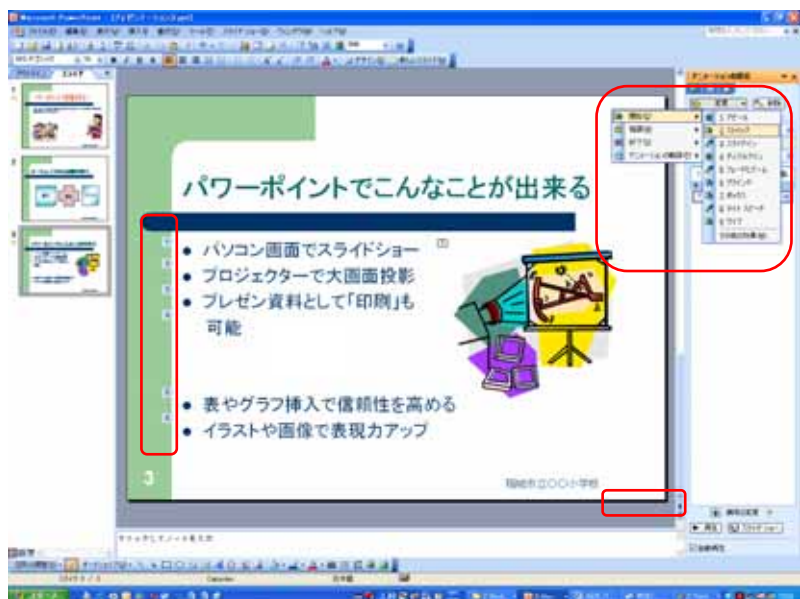
テキストのアニメーションの設定

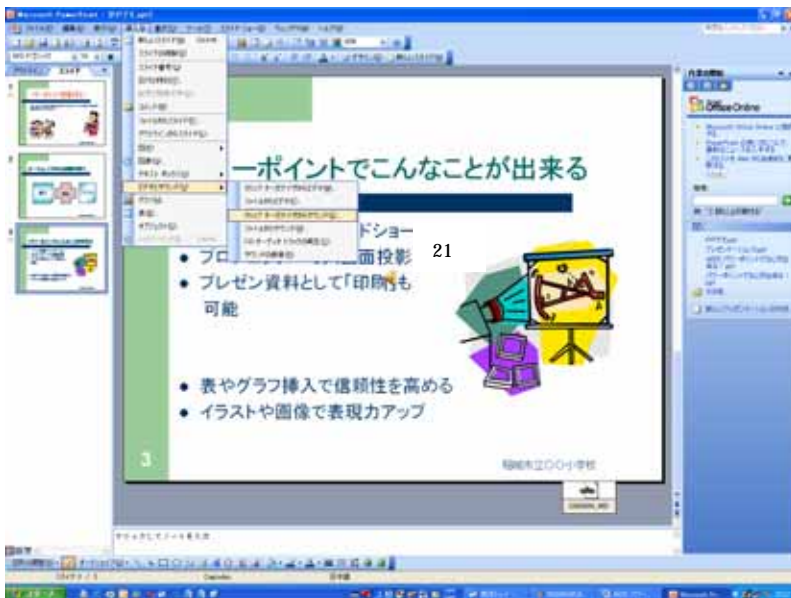
スライド内のテキストを強調したい場合には、プレースホルダにアニメーションを設定します。

a. 「アニメーション設定」作業ウインドウを開きます。

アニメーションを設定したいプレースホルダを選択し、「効果の追加」ボタンをクリックし、メニューから設定したいアニメーションを選択します。ここでは「開始」「ストリップ」を選択します。

「再生」ボタンで選択中のスライドショーを再生出来ます。

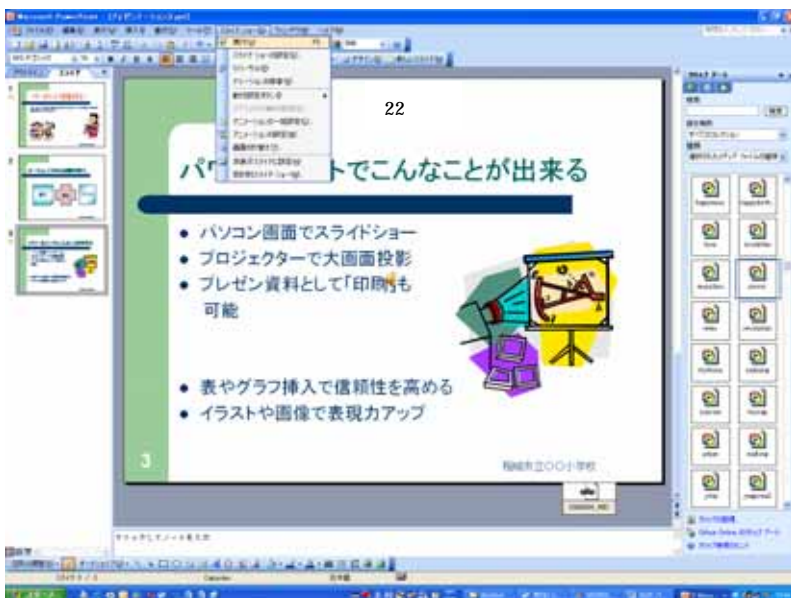




21 サウンドの挿入

プレゼンテーションにBGMがあると、一段と洗練された印象的になります。クリップアートや音楽ファイルを挿入します。

- a. 「挿入」メニューより、「ビデオとサウンド」を選択します。クリップアートを選択し、作業ウインドウより目的のファイルを選択し「」より挿入します。
- b. 音楽ファイルの場合は、同様に「ファイルからサウンドを」選択し挿入します。



22 スライドショーの再生と停止

- a. 「スライドショー」メニューより「実行」をクリックします。
- b. 画面全体にスライドショーが再生されます。
- c. 停止するには、「スライドショー」メニューから「スライドショーの停止」。画面の右下にある「」ボタンをクリックします。
- d. 「動作タイミング」「図・画像へのアニメーション設定」「グラフアニメーション」などを、作業ウインドウより設定をします。

以上